

ゆやのわいわいスナップ!



ルーシー先生シリーズ⑱ Two Years In Yuya-Part1 油谷町での2年間 パート1



Looking back over the past 23 months since I arrived in Yuya, I realise how much Japan has shaped my life. Living alone in a small rural town in a country far from home, trying to speak a strange new language, eating unusual food and learning foreign customs have all been challenges that have made me a stronger, more independent person. The patience and tolerance shown by the people of Yuya whenever I make mistakes or do things differently has taught me to be more understanding and forgiving myself. Your offers of friendship and generosity have warmed my heart and cast away the loneliness I sometimes felt when I first arrived in Japan. I hope the joy I have found here in Japan might perhaps inspire you too to embark on exciting adventures...

(To be continued next month...)

私が油谷町に来てからの23ヶ月を振り返ると、日本がどんなに私の人生を方向づけてきたかわかります。家から遠く離れた国の小さな田舎町に1人で住み、新しい未知の言葉を話そうとし、いつもと違ったものを食べ、外国の習慣を学ぶことは全て私を強くし、より自立した人になるための挑戦でした。失敗をしたり違うことをするときにはいつも、油谷町の人々の忍耐力と寛大さが、私により理解力をもつこと、自分自身を許すことを教えてくれました。みなさんの友情や優しさは私の心を温め、日本に初めて来たころ時々感じていた寂しさを吹き飛ばしてくれました。私がここ日本で見つけた喜びがあなたを奮起させ、皆さんも胸をわくわくさせるような冒険に乗り出してほしいと思っています。(来月に続く...)

歳時記

雲海と聞くと、山の頂上に立って眺めた雄大な風景を思い出して、今年の夏もぜひ見たいと思う方も多いことでしょう。

雲海というのは、二千メートル以上くらいの高山から見る、雲が海のようにいつぱいに広がった風景のことです。高層雲が一面に広がり、その上が平ら、または波立つようになつて海のように見えるのです。

雲海は夏の季語になっていますが、夏は登山しやすい季節で、この現象を見ることが多いからでしょう。

しかし、雲海を詠んだ句は少ないようです。昔はレジャーより、信仰のために山に登る人が多く、一句詠むという余裕がなかったのでしょうか。現在は登山道、登山自動車道などが整備され、ロー

雲海

プウエーやケーブルカーも利用でき、昔に比べて山頂近くまで行くことは容易であることを思えば、隔世の感を覚えます。

山で最も感動的なのが、雲海などから太陽が上がる、ご来光ごらいこうの瞬間です。ご来迎ごらいこうともいいますが、日の出や日の入りのとき、高山で雲に映った自分の影や光の環が見える様子「ブロッケン現象」を、ご来迎と呼ぶこともありま

